

帝國議會 第十三回 貴族院著作権法案特別委員會速記錄第五號

明治三十二年二月三日(金曜日)午前十時四十五分開會
○副委員長(加藤弘之君)夫テハ始メマス夫テハ附則ニ移リ
○山協玄君其前ニチヨット御相談シタゞ、三十八條、規定

○小幡篤次郎君 私ハ山脇サンニ御同意致シマセウ
○副委員長(加藤弘之君) 山脇サンニ御相談ヲシテ
宣ナトカダア、ミ第三二五條、「爲害ノ爲ノハシ

三十八條ノ罰ガドウモ少シ此三十五條ト三十九條トノ罰ニ比較シテ權衡ヲ得テ居ラヌヂヤナイカト云フ考ガアリマス、夫デ詰リ申シマスルト云フト三十
八條ノ罰ヲ丁度三十五條ト三十九條ノ中途ヲ取ルト云フコトニ定メタラ如何
デアラウカト思ニマス、夫デ三十八條ノ自分ノ著生物ニ外ノ者ノ氏名ヲ用ヰ

レバ無論純粹ノ偽造デ三十五條ニ這入ルタラウト思ヒマス、其他ノ場合ヲ是
ガ稱スルモノデアリマスカラドウモ三十五條ト同ジニ致スト云フコトハ如何
ナモノデゴザイマセウカ、是ハ少シ此罰ニ三十五條ト三十九條ノ權衡ヲ取ツ
テ差ヲ附ケタラ如何ノモノデアリマセウカ

○菊池大麓君 是ハ人ノ物デスネ、人ノ物ヲソツクリ盜ンデサウシテ夫へ自分名ヲ附ケテ出シタノハ此條ニハ這入ラナイデ偽作ノ方へ這入ルト云フ御考デスナ

○山脇玄君 サウ考 ヘマスガネ
○菊池大麓君 サウスルト此條ノ規定スルノハ自分デ何カ物ヲ持ヘテサウシ
テ夫ヲ外ノ人ノ名前デ著作シタトカ申セバ其人ノ名前ヲ騙ル方ニ……

○山脇玄君 サウデス、或ハ自分ハ別ナコトデ、甲ノ著作ヘ持ツテ行ツテ又外ノ人ノ名ヲ附ケテ出スト云フヤウナ場合ニナラウト思ヒマス、人ノ著作物ニ自分ノ名ヲ出セバ純粹ノ偽造ニナリマスカラ三十五條ニ當リマス、ドンナモノデセウ政府委員ハ……

○政府委員(水野鍊太郎君) サウナルダウト思ヒマス、唯今山脇サンノ御話デ差ヲ附ケルコトハ差支ナイト思ヒマス、人ノ名ヲ騙ルノハ餘程重ク罰セ
ネバナラヌト云フコトデ五十圓以上五百圓以下ト致シマシタガ丁度此罪ハ三

十五條ト三十九條ノ間ニ這入ルモノデアル、其趣意デ下グルト云フコトデゴ
ザイマスレバ宜カラウト思ヒマス

○政府委員(水野鍊太郎君)　是丈ケノコトヲ申シテ置キタイデスガ、隨分其有名ノ學者ノ名ヲ騙ッテ自分ノ著作物ナドニ入レルト云フコトナドハ殆ド其爲作ヲシタ同シマウトモソダアレハズ、随分ナウ云フミリ、虽フ取締ラバ

ト矢張リ是ハ著作者ヲ保護スル趣意ニナルノデアルカラ偽作ハシナイケレドモ殆ド名ヲ取ッタト云フ丈ケデモ偽作ニ尋グモノデアルカラ重クスル必要ガアルト云フノデ三十五條ト同シ罰ニシタラドウ云フモノデスカ、此條ノ趣意ハサウ云フ趣意デシタモノデゴザイマスカラソレ丈ケ申シテ置キマス

イヤツモアリ情ヲ知テドコヂヤナイソレガ煽動シテヤラセルコトモアルダラウケレドモ亦義理合ニ攝マサレテヤルト云フヤウナ輕イヤツモアル、ソレダカラ罰モ大變ニ懸隔ハ付イテ居ルケレドモ三十八條ノヤツヲ重イヤツデ人ノ名前ヲ、他ノ名前ヲ付ケルト云フノハ即チ賣ラウト云フノヲ目途ニシテヤルノダカラサウスルト隨分輕重ガムヅカシイヤウニ考ヘル、僞作物ヲ爲シタト云フノニモ或ハ極ク騙サレテ爲スヤツモアルダラウケレドモソレハ憐ムベキヤツモアルダラウガ併シソレハ發賣シ頒布モスルカラ矢張リ是ガ目途ヲ爲シテ來ルノダカラドウモサウ云フヤウナア隨分ムヅカシイト思ヒマス

○菊池大麓君 テヨット今ノ三十八條ノ山脇君ノ說ニ付イテ疑ヒヲ起シマシタガ此節ハ自分デ書カナイデ自分ノ名ヲ借シテ書カセルト云フヤウナコトガ隨分アルヤウデゴザイマスガサウ云フモノハ三十八條ニ該當スルノデスカ自分デ承諾シタラ三十八條ニハ該當シナイデスカ

○山脇玄君 ソレハ承諾シタラ該當セヌデセウ

○副委員長(加藤弘之君) 政府委員ハドチラデスカ

○政府委員(水野鍊太郎君) 是ハ初メハ低クカツタケレドモ法典調査會ナドデ調査スル時分ニ先程加藤サンノ御話ノ通リノ趣意デ矢張リ重クスル方が宜イト云フノデ重クナッテ來タノデゴザイマスカラ非常ナ差支ガナクバ三十五條ト同ジヤウニシテ置ク方ガ大變都合ガ宜トイ思ヒマスカラ非常ニ權衡ヲ得ナイト云フヤウナコトデモアルマイト思ヒマス、若シ別段強イ必要ガナケレバ矢張リ五十圓以上五百圓以下ニシテ頂キタイト思ヒマス

○菊池大麓君 サウ云フ罰則ト云フモノハ大概宜ク五十圓ト云フト其次ハ五百圓ト云フヤウデスガ三十圓以上五百圓以下ト云フヤウナコトハ法律ノ體裁上ヲカシイデゴザイマスカ

○政府委員(水野鍊太郎君) ソレハ出來ヌコトハアリマスマイト思ヒマス、併シ刑法ハ重ニ斯ウ云フコトニナッテ居リマス故ニ三十圓以上五百圓以下ト云フヤウデスガ三十圓以上五百圓以下ト云フ折衷法ヲ出シマスガ別ニ強ヒテ主張スル譯デハアリマセヌ

○副委員長(加藤弘之君) 今ノ折衷説ニ三十圓以上五百圓以下ト云フコトガ出マシム

○山脇玄君 三十圓デ宜シウゴザイマセウ下ノ緩ミヲ付ケルノニ……

○副委員長(加藤弘之君) ソレデハサウ決メマセウ

○木下廣次君 私ハ第四十條ノ文章論デゴザリマスガ「虛偽ノ登録ヲ受ケタル者」トアリマスルノハ是ハ虛偽者トシテ登録サレタ者ト云フ意味ラシウゴザイマスガサウデゴザリマセウカ原案者ニ御尋ネ致シマス

○政府委員(水野鍊太郎君) 是ハ登録ヲ詐ツテ受ケタ者ト云フ意味デゴザイマス、著作者デナイ者ヲ著作者アルヤウニシタノデアリマス

○菊池大麓君 政府委員ニ御尋シマスガ此三十八條ト四十條ト重ナル場合ナ

ドガ這入ッテ來ルト思フ、其時ニハ二罪俱發ト云フ刑法ノ何デ往クノデスカ保護ニ關スル同盟國外ノ臣民ニ向クテハ餘リ特待過ギルト云フ考カランマシテ其臣民ニ向クテハ相互主義ヲ用井テハ如何デアラウカト云フ意見ヲ提出シタデゴザリマスル、ソレニ就テ段々御説モゴザリマシタガ察シマスル所大體ハ較々御同意ノ趣ト推察シタデゴザリマス、去ナガラマダ條文ノ修正ノ案文モ備ヘテ居ラナカツタコトデアリマスルカラ議論ハマダ確實ニ入り兼ねテ居シタデゴザリマスルカラ今試ニ其修正ノ案文ヲ私提出致シテ見マスル、此案文ハ水野政府委員ノ私ニ記載セラレタルモノデゴザリマシテ私ハ之ヲ借來リマシテ自身ノ案ト致シマスルノデゴザリマス、此案文ハ「著作権保護ニ關スル列國同盟ニ加入セザル國ニ屬スル著作又ハ其承繼人ハ同盟條約ニ別段ノ規定ナキ場合ニ於テハ帝國ニ於テ初メテ其著作物ヲ發行シタル時ニ限り本法ノ保護ヲ享有ス」斯ノ如キ修正案デゴザリマスル、ソレデ絶對的ニ相互主義ヲ執ルト申シマスルコトモ決シテ差支ハナカラウト存ジマスルケレドモ既ニ昨日モ委員長ヨリシテ支那人ニ對シテ餘リ酷クハナイカト云フ一時ノ戯言ヲ發セラレマシタデゴザリマスルケレドモ又一方カラ見マスルト御尤ニモ考ヘラレマスルカラソレデ此本邦デ發行シマシタルモノト云フコトヲ一ノ制限トシマシテ此本邦デ發行サレタモノデゴザリマシタナラバ此本法ノ規定ヲ適用スルコトニナリマスルシ本邦外ニ發行シタモノデゴザリマスレバ本邦ノ規定ヲ適用シナイト云フコトニナルノデゴザリマシテ現ニ同盟外ノ臣民デゴザリマシテモ帝國ニ於キマシテ著作物ヲ發行シマシタト申シマスレバ帝國ノ法律ハ之ニ向クテ一視同仁ヲ以テ規定スルト云フコトハ是ハ然ルベキコトダラウト考ヘマス、強チコチラガ讓歩シタト云フ限リデモナカラウト思ヒマスルカラソレデ此本邦ニ於テノ著作物ト云フコトヲ一條件ニ取リマシテ斯ノ如キ修正案ヲ提出シタ譯デゴザリマスル、ドウカ御賛成ヲ願ヒタウゴザリマス

○政府委員(都筑馨六君) 是ハ私モ此處デ始メテ承リマシタ問題デ、ハツキリシタ所ハ十分ニ調ベタ上デ申上ゲタイト思ヒマスルガ、唯今私ノ考ヘル所

ニ於キマシテハ何等ノ差支モナイヤウニ思ヒマス、ト申シマスルノハ成程商業其他ノコトニ關シマシテハ御承知ノ通り新條約ニモ無條件且直接ニ最惠國ノ權利ヲ總テ與ヘルト云フヤウナ箇條ガ往々見エマスルケレドモ此著作權ニ關シマシテハ此最惠國ノ取扱ノ利益ヲ與ヘタ事柄ノ範圍外ト解釋シマスニ依ツテ差支ナイト思ヒマスルサリナガラ……

(速記中止)

○久保田讓君 私ハ此大體ノコトニ付テ外務當局者ニ御尋ねシタイノデアリマス、先日大要ハ述ベテ御承知ニナツテ居ルヤウニ思ヒマスケレドモマダ表向キ述ベタコトニナツテ居ラヌヤウデアリマスカラモウ一應重ねテ御尋ネヲ致シマス、私が御尋ねシタイノハ此著作權ノ同盟條約ニ加入ヲシタコトニ付テノ由來ニアリマスガ、ソレハ通商條約ノ第何條デアリマシタカソレニ依ツテ此著作權同盟條約ニ這入ルト云フコトヲ條約ヲサレタ、其條約ニ基テ此同盟條約ニ這入ルト云フコトニナツテ居ルト云フコトデゴザイマス、其條約ヲ御締結ニナツタ當時此著作權同盟ニ這入ルコトノ利害ト云フコトニ付テ政府デハ餘程御勘考ニナツタコト、考ヘルノデアリマス、即チ此西洋ノ書物ヲ今日日本デ翻譯シテ居ルト云フモノハ餘程數多イコトデアリテ、學術上ニアッテモ或ハ教育上ニアッテモ又ハ音樂樂譜等ノコトニ付テモ總テ西洋カラ此新規ニコチラヘ輸入スルモノヲ翻譯ヲ致シテ使用シテ居ルコトハ是ハ餘程數多イモノデアリマシテ、是ニ依ツテ國ノ文化ヲ進メツ、アルコトハ疑モナイコトデアルノデアリマス、ソレデ此法ヲ制定セラレテ愈々實行スルト云フコトニナルトソレ等ノ便宜ハ餘程ノ部分ヲ失ツテ仕舞フヤウニナル、從ツテ西洋ノ文明ヲ我國ニ輸入スルト云フコトニ付イテモ大ナル障碍ヲ來タシテ來ルト云フコトニナラウカト思フノデアリマス、ソレニモ拘ラズ此條約同盟ニ加入シテ、サウシテ此法律ヲ制定シナケレバナラスト云フコトニ付テハ餘程ノ利害ノ關係ガ明カナコトガナクテハナラヌデアリマスカラ其當時ニアッテ政府ノ御調べニナツタ利害上ノ關係ト云フモノヲ承リタインデアリマス、尙此條約ニ是非共這入ラナケレバ一般ノ條約ヲ締結スルコトハ出來ナイノデアルカドウデアルカ、殊更ニ此事ニ付テ外國トノ御談判ニナリマシタカ其事ノ關係モドウカ承ハレル丈ヶ承ツテ置キタイ、斯ウ云フ要領デアリマス、夫ニ付テ成ルベク丈ヶ明カニ事情ヲ承リタイ、サウシテ其事柄ハ或事情ニ涉ルコトハ速記ナドハ必ズシモ取ラナクテモ宜シウゴザイマスカラドウカ詳ク願ヒタイ

○政府委員(都筑馨八君) 夫デ速記サレルモノトシテ御答シマセウカラ出來

ル丈ヶヤツテ見マセウ、又足ラヌト云フコトハ或ハ速記ヲ止メテ頂クカモ知レマセヌ、元ト元ト此條約改正ノ事業ガ文明國トノ仲間入ヲスル對等ノ御附合ヒヲスルト云フコトデ目的モ先キカラソコニアリマシタ、又コチラノ論旨モソコニアリマス、夫デ文明ノ御附合ヲスル以上ハ文明國デシテ居ル丈ヶノ事柄ハ無論コチラデモ出來ル、斯ウ云フ積リデ其意思ヲ明ラカニコチラカラ

示シ法典ナドノ事柄モ無論其邊ニ基イテ居ルノデアラウト思ヒマス、法典編纂ノ事柄モ矢張リ文明國ノ體裁ヲ整ヘテ居ルト云フコトデシマスルノニハ文明ノ一大原因トナツテ居ル著作權保護等ニ於キマシテモ他ノ文明國ニ後レル所ハナイト云フ考カラ、後レル所ガアツテハナラスト云フ考カラ他ノ公使アタリカラモ申ス所ガアリ、日本政府自ラ考ヘル所モアツテ其制度ヲ設ケ

ナドハ屢々代ハルモノデスカラ其時ノ當局者デハアリマセヌカラ詳シイコトハ分リマセヌ、又此書類モ詳シイ事情マテ明カニシタ所ノ書類ハ一ツモ殘テ居リマセヌ、餘所ノ省ト違ヒマンテ外務省ニ書類何カナイノデゴザイマス稟議ト云フモノハ何處ノ省ニモアリマスガ外務省ニハ繁文省略ノ爲ニ稟議ト云フモノハナシニナツテ居リマス、始終往復書類ノミガアルノデアリマス、其往復書類ニ據リマスルト唯外國公使ノ方カラ促シテ來タノガアル丈ヶデゴザイマス、夫ニ對シテ深ク何シタ、コチラカラ讓歩シタヤウナ答辯書モ行ツテ居ラヌガ外國政府ノ希望ハ餘程熱心ナ希望ガアツタニ相違ナイノデアリマス、夫デ條約改正ヲシマスルニ付キマシテハ矢張リ是等モツノ確カニ條件デゴツタラウト思フ丈ヶ疑ナカラウカト思フ、夫ヨリ先キノ詳シイ事柄ハ唯々此人ガスウ云ツタアノ人ガア、云ツタ云フノデ外務省ニ居ル官吏ガ覺エテ居ル丈ヶノ事柄デゴザイマス、ナカク證據ハ何モナイ、併シ外國政府ガ重キヲ置イテ居ルト云フ丈ヶハ今日デモ疑ナイ現ニ佛國政府ノ如キハ是々是々條約ヘ御加盟ナサレルコトノ義務ヲ日本政府ヘ御持チニナツテ居ルト云フコトヲ御注意申上ゲル……御注意デヤナインナツテ御出ニナルガ夫ニ付テハ御加盟ニナルマデニハ多數ノ日子モ要スル次第デアルガ何時何日マデノ日限ニ此加盟ヲサレルニ付テハ其前豫備ノ仕事トシテ多數ノ日子モ要セラレル、サウスルト何時御申込ミニナルカ夫ヲ承リタイト云フヤウナ書面ガ漸ク二三日前ニ栗野カラ外務省ノ方へ轉送シテ來マシタ、ケレドモ其書類ガコツチヘ達スルニハ時日ガ掛リマスカラ一月カ二月位前ニ向フカラ申込レタ位デアリマス、餘程重キヲ確カニ置イテ居リマス、著作權法夫カラ特許、總テ條約ニ書載セテ○久保田讓君 唯今ノ御答辯ニ據ルト此事ニ付テ現ニ條約ニ重キヲ置イテ居ルト云フコトハ御認ニナツテ居ルデスガ併シ此事柄ニ付テ特別ニ談判ヲシタアリマスモノハ見當リマセヌ、其後ニハ今ノ現ニ佛蘭西ノ政府カラヤツテ來往復シタモノハ見當リマセヌ、其後ニハ今ノ現ニ佛蘭西ノ政府カラヤツテ來トカ或ハ書類ノ往復ヲシタトカ云フコトハナイ、或ハ覺エガナイト云フコトデアリマシタカラ此爲ニ特ニ御談判ニナツタコトハナイト認メテ宜カラウト思ヒマス

○政府委員(都筑馨八君) 夫ハ少シ云ヒ方ガ不十分デアリマシタガ條約改正前ニ向フカラ申込シテ來タモノデ此條約改正ニ付テ其時ニ特許ニ關シテ特ニ合ヒヲスルト云フコトハ御認ニナツテ居ルデスガ併シ此事柄ニ付テ特別ニ談判ヲシタタコトモアリマスシ……

スルコトハナカツタト云フコトデアリマス、夫カラ今ノ佛蘭西ノ御話デアリマスガ是ハ著作権デアリマスカ、特許ノ方デハナイノデゴザイマスカ
○政府委員(都筑馨六君) 倘デアリマス四ツノ條約ヲ指シテ居リマス、色々ノ條約ト云フコトニハ結局シテ居リマセヌ
○久保田讓君 少シ諄ク御尋ネ申スヤウデアリマスケレドモ是ハ今ノ當局者ガ談判ヲナスツタノデナイカラドウモ分ラヌコトガアルデスケレドモ民法ナドノコトガサウデアツタ、アノ民法丈ケニ付テハ矢張り取除ケルコトガ出来タ、併ナガラ先刻御話ガモウ事情ヲ盡シテ居ルヤウデスガ、ドウカ文明國ノ仲間入ヲスルコトガ大主眼ニナシテ居ルノデ、文明國ノ仲間入ヲスル爲メニモウ一ツ國ノ利害ト云フコトハ餘程考ヘナケレバナラナカツタノデアリマスガ、其文明國ノ仲間入ヲスルコトヲ義務ニシテ居ラテ國ノ利害ヲ調ベルコトハ第二段ニナシテ居リハシナイカ、即チ一例ヲ云ヘバ先刻申シタ民法ナドノコトデ是等ハ前議會ノ時ニ段々政府へ御尋ヲシマシタガは條約改正ノ當時デアツタラサウ云フコトヲ云ツタナラバ宜カツタデアリマセウガ今日ニナシテハ仕方ガナイ、免ニ角ヤルコトニナシテ居ルカラ仕方ガナイト云フヤウナコトデアリマシタ、其例トシテ我邦ト暹羅デシタカノ其條約ナドニ矢張リ法典ノコトニ付イテ民法ナドハ自カラ自分ノ方カラモ除カレテアルト云フヤウナ實例ハアツタ、決シテ改正ノ爲ニ民法マデモ改正ヲシナケレバ條約ノ締結ハ出來ナイト云フヤウナ事情デハナカツタノデアリマス、併シ政府ハソレマデノ特別ノ談判ガナカツタ爲ニ新條約ニハ民法マデモ加ヘテヤラナケレバナラヌト云フヤウナコトデアツテ丁度此版權ナドモサウ云フ事情デハナカツタカト思ヒマス、此特許ノ方ハ直接ニ非常ナ利害ニ關スルモノニアリマスカラ是ハ餘程ムヅカシイノ條件デ私ナドノ承ツタ所デモ餘程ノ條件デ特許モ條約ニ這入ツタラウト思ヒマス、先刻御話デモ條約前ニ獨逸ナドモ條約前ニ同意シタト云フコトデアリマスケレドモ此著作権ナドハ左程ニ外國ノ方ニ利害ハナイト思ヒマス、ソレニ反シテ我國ハ此著作権ハ非常ニ利害ヲ持ッテ居ルコトデアリマスカラ若シ條約ノ談判ノトキハ特別ニ注意サレテサウシテ政府モ外交官モ共ニ盡力ヲサレタナラバ或ハ必シモ此同盟國ニ這入ラヌデモ宜クハナカツタカ、若シ這入ヌナラヌデモ條約ノ談判ノトキニ何カ是ニ代ルベキ利害ノ談判ノシヤウモアルコトデアリマスカラ或ハ這入ラヌデ濟ダコトデハナイカト云フノハ此條約ガ各國殘ラズ這入ツテ居ルト云フノデハナイ、即チ亞米利加デアルトカツレカラ露西亞塊地利、匈牙利阿蘭陀丁抹、ト云フモノハ這入ツテ居ラヌデ所謂文明國ノ中ニモ殆ド半分位シカ這入ツテ居ラヌ半分ハ這入ラヌデ居ルト云フ位デ左程確イ同盟デハアリマセヌカラ隨分サウ云フ方ノ點カラ申シテ見レバ必ズシモ條約ニ這入ラヌデモ締結ハ出來タノデハナカト推測スルノデアル、ソコデ先刻來條約ノトキノ當時ノ事情ソレカラ又所謂御談判ニナシタト云フコトヲ承ツタノデアルガ先刻ノ御答デハサウ云フ特別ノ談判ノ模様竝ニ特別ノ數回往復ヲシタ書類等モナイト云フコトデアリ

○マスカラ、今日カラ推測ヲスレバ先づ特別ノ談判ハナカツタト推測ヲスルヨリ外ニナイト思フ
○政府委員(都筑馨六君) 特別ノ談判ヲシタト言フコトハゴザンスマイ醫ヘバ法典ノコトニ付キマシテモ法典ノ事柄ニ關シテ特別ノ往復ハナイ、去リナガラ此條約改正ノ會議日トカ或ハ公使ノ謁見日ダトカ言フヤウナトキニ談判ハ始終アルノデアリマス、苟モ一字一句ニシテモ條約ノ上ニ出テ來ルトキハ餘程込ミ入ツタ談判ノアルノガ通常ノ習慣デスカラ此往復書類ガナイカラ直ニ談判ハ別段ノコトハナカツタノデアラウトノ推測ハ外務省ノ習慣ニ照シテ見マスルト稍々穩ナラヌカノヤウニ感シマスル、又此法典ノ事柄ヨリ一層或ハ外國政府ハ重キヲ置イタデアラウカト思フ事柄モナイデナイデス、無論外國ニ事柄デアリマスカラ果シテ推測ガ當ヲ得テ居ルヤ否ヤハ免ニ角法典ヨリハ此方ヲ先キニ追ツタト言フコトハ外務省ニ古クカラ居ル官吏ノ記憶ニハアルノデス、又法典カラ見マスルト此身分ノ事柄ナゾハ多ク其本國ノヲ用井マス、併シ又來テ居リマス人ノ利害ハ主トシテ關係シテ居ル所デアリマスカラ此方ニナリマスルト本國ニ居ル人ノ利害ニ餘程關係シマスルノデソレデ始終日本デ日本人ガ翻刻スルト言フヤウナ苦情ヲ申込ンダコトガ屢々アル容子答辯ハシテ居ツタガ外國政府ハ殊ニ依リマシタラ法典ヨリハ此方ニ餘程重キデアリマス、隨分酷イデヤナイカト言フヤウナコトヲ外務省へ訴ヘタコトモ確カニアルラシウゴザイマス、無論外國デモヤウテ居ル事柄デハナイカ位ノヲ置イテ居リハシマイカト思フ位ニ感ズルノデアリマス
○久保田讓君 大概ワレデマー御互ニ言フコトハ分ツタヤウデアリマスガ尙ホ併シモウ一言申シテ置クノハ多分外國カラモサウ申シタデアリマセウ、ソレカラ或ハ相當ノ御談判ガアツタデアリマセウガ私ナドノ推測スル所ニ依レバ現ニ先刻モ申シタ通り所謂文明國ト言フ數多ノ國ガ此同盟條約ニ這入ツテ居ラヌノデマスカラ、如何ニ向フカラ必要ニ迫ツテ來テモ我國ニ非常ナ未だ他ノ各國モ皆此同盟ニハ這入ツテ居ラヌト言フコトデアル免ニ角我國ナドハ歐羅巴ノ文明ヲ頻リニ我國ヘ輸入シテサウシテ非常ニ利益ヲ得テ國ヲ進メツ、アルコトデアル、是ダケノ條約ニ這入ルノハ暫ク先キヲ見テ這入ラヌナラスト言フコトハドウシテモ言ヘマイト推測ガ出來ルノデアリマスカラソレ故ニ私ハ先刻ノ推測ヲ出シタノデ此上ハ別ニ尋ネルコトモアリマセヌシ外務次官ノ答辯ハ私ハ了解シマシタガ尙ホソレニ付イテ多少ノ意見モ在リマスガソレハ此法案ヲ決定致ストキニ私ノ希望ヲ意見トシテ申述べヤウト思ヒマス
○政府委員(都筑馨六君) 尚ホ二十七條ノ先刻ノ御質問ニ對シテ私ハ誤リハアリマスマイト思ヒマスケレドモ尙ホ念ノ爲メニ此特許ノ法ニ關スル既往ノ手續ヲ調べタル上ニ明カリ御答ヲシタト思ヒマス、萬誤ナカラウトハ思ヒマスガ是ハ最惠國條款ヲ適用スル氣遣ヒハナイト言フ、誤リハナカラウト存ジ

○副委員長(加藤弘之君)

畫後ニ御答ガ出來 マスカ

○政府委員(都筑馨六君)

直ニ調ベテ……

○副委員長(加藤弘之君)

ソレデハサウ言フコトニ御約束ヲシテ置キマス

○政府委員(都筑馨六君)

ハイ

○久保田讓君

附則ヘ這入ツタラ如何デス

○副委員長(加藤弘之君)

附則ニ移ツタ積リデアリマス

○菊池大麓君

チヨツト質問ヲシタイ、内務省ノ政府委員ニ質問シタイデス

ガ此四十四條ノ「施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト言フノハ條約トノ關係デ

斯ウナルノデアリマスカ

○政府委員(水野鍊太郎君)

全ク其通りアリマス、此條約ニ加入スルト言

フノハ加入スル日ト此法律實施ノ日トガ旨ク釣合ヲ得ナケレバイカヌト認メ

マシタノデ法律ニシマセズ勅令出スルト言フ趣意デゴザイマス

○山脇玄君

此四十六條ノ所デチヨツト此質問ノ時ニ居リマセナンダカラ或

ハ重複スルカモ知レマセヌガ此四十六條ノ第二項ノ複製ノ用ニ供シタル器械

器具ノ取締デスガ、是ハドウ言フ工合ニナリマスカ、本法ノ施行後五箇年間

複製ノ用ニ便スルトスウアルサウスルト五箇年經ツタ後ハ矢張リモウソレヲ

使用サセナイデ沒收シテ仕舞フト言フコトニナリマスノデスカ、ドウ言フコ

トニナルノデセウカ

○政府委員(水野鍊太郎君)

五箇年間ハ使用シテモ宜イト言フノデゴザイマ

スカラ五箇年使用シタ所ガ罰ハ受ケナイ、五箇年經テバ使用スルコトガ出来

ナイ、五箇年經ツテ先キニ使用シテ出版スル時日ガアレバ偽作ノ罪ニ當リマ

ス、又損害賠償ノ請求モ受クルコトニナラウト思フ

○山脇玄君 サウスルト五箇年經ツテ直チニ沒收スルト言フコトチャナイン

デスナ

○政府委員(水野鍊太郎君)

沒收スルト言フコトチャナイン

○久保田讓君 私ハ此四十七條ニ於テ少シ修正ヲシタイノデス、ソレハ「其ノ

翻譯物ハ本法施行後五年内ニ發スルコトヲ要ス」トスウ書イテアルノヲ「十年

内ニ發行スルコトヲ要ス」ト言フコトニシタイ、其理由ハ此同盟條約ノ第十四

條竝ニ條約ノ追加條款終局議定書ノ第四ニ依リマシテ此本法ノ際ニ處スル處

分法ハ其國ノ法律デ制定スルコトガ出來ルト言フコトガアリマスルカラシテ

此五箇年以内ト言フコトハ三年デモ五年デモ七年デモ十年デモ之ヲ本法デ制

定スルコトガ出來ルヤウニ考ヘマスカラ、ソレ故ニ五年ヲ十年ニ修正シタイ、

ト言フノデハゴザイマセヌ、又翻譯物ノ隨分大キナモノガアル大部ナモノガ

アル、サウ言フ大部ナモノニナリマスト是マデ日本ノ翻譯ニナツテ居ル例ニ

依テ三年ヤ五年デ出來ルモノデハナイ、サウ言フモノガ折角出來カケテ居

テモソレモ共ニ出來ナイト言フコトニナツテハ甚ダ困ル譯デゴザイマス、ドウカ十年ト言フコトニシテ其間ニハ大キナモノデアシテモ製造ノ出來ルヤウニシタイト言フスウ言フノデゴザイマス、ドウカ諸君ノ御贊成ヲ得タイ

○政府委員(水野鍊太郎君)

唯今ノ久保田君ノ御修正案ニ對シテ一言申シテ

置カナケレバナラヌト思ヒマス、同盟條約第十四條ハ原則トシテハ既往ニ遡ルモノデアル「本條約ハ共同一致ヲ以テ別ニ定ムヘキ制限及條件ノ外本條約

實施ノ當時其ノ本國ニ於テ未タ公有ニ屬セサル一切ノ著作物ニ適用ス」斯ウアルノデス、ソレデスカラシテ例ヘバ日本ノ同盟ニ加入致シマスレバ加入ノ

當時外國ニ於テ公有ニ屬セザル實際ノ著作權ニ屬スルコトデゴザリマス、此

條約ヲ適用スルコトニナルカラ原則トシテ既往ニ遡ルト言フコトニナル、唯茲ニ共同一致ヲ以テ定メベキ條件ノ方法ソレダケガ取除ケテアル、ソレカラ

共同一致ヲ以テ定ムベキト言フコトハドウシテ極メタカト言フト唯今御讀ミニナツタ終局議定書ニ依シテ極メテアルノデ、其議定書ノ第四ニ「條約第十四

條ニ豫見セル共同一致ハ左ノ如ク決定ス」斯ウアル、ソレカラ第二項ニ「條約實施ノ當時未タ公有ニ屬セサル著作物ニ對スル本條約ノ適用ハ各國相互ノ

ニナツタ現存シ若ハ將來締結スヘキ特別條約ノ條款ニ從ヒ決ス可キモノトス」斯

ウアルデス、是ヲ以テ條約十四條ノ制限ヲ幾ラカシタノデアル、其制限ハド

間ニ現存シ若ハ將來締結スヘキ特別條約ノ條款ニ從ヒ決ス可キモノトス

ウアルデス、是ヲ以テ條約十四條ノ制限ヲ幾ラカシタノデアル、其制限ハド

國法デ十四條ノ原則ノ適用ニ關スル大要ヲ定メルコトガ出來ルト言フコトニ

ナル、ソレデアリマスカラ此條約ヲ解釋シマスルト五年デモ七年デモ三年デ

モ十年デモ宜イト言フヤウニ見エル、併シソレデ言フト十年デモ宜イ二十年

デモ宜イ更ニ五十年デモ宜イト言フコトニナルノデアル、ソレヲ文面的ニ解

釋スレバ或ハサウ言フコトニナルカモ知レマセヌケレドモ其趣意ヲ解スルニ

サウ十年ナリ二十年ト言フコトハ此時ノ本旨デハナカラウト思フ、原則トシ

テハドウシテモ既往ニ遡ルト言フノデアル、此原則ノ適用ニ關スル大要ヲ定

メルダケハ内國法ニ讓ツテアル、此年限ノコトニナリマスト是ハハシキリシテ

居ラナイカラ餘程疑ヲ存スルノデアリマス、此議定書ノ第四ニ依シテ内國法

ヲ制定スル際ニハ成ルベク原則ニ近ヅクヤウニ立法ヲシナケレバナラヌト思

フ、ソレヲ此日本テ法律ヲ制定スル際ニハ外國ノ適例ヲ見マシテ此原則ハド

ウ言フ風ニ制限シテアルカト言フコトヲ注意シテ見タ所ガ、此場合ニ關スル

原則ノ適用ニ關シテ居ル法律ヲ拵ヘテ居ル國ハ餘計ハナイノデス、僅々獨逸

ト白耳義ダケガ既往ニ遡ル原則ヲ設ケテ居ル、ソレガドウデアルカト言フト

確カ白耳義ハ二年デシタガ獨逸ハ翻譯ノ方デハアリマセヌガ四十六條ノ場合

ニ當リソレガ四年ニナツテ居ル、多クテ四年位ノコトニナツテ居ルノデスカ

ラ、日本ガ五年ニシタノモ既ニ多クハナイカト言フ嫌ヒモアルノデゴザイマ

スケレドモ、五年ト四年トハ一年位ノ違デアルカラ之ヲ五年ニシタ、即チ條

約違反ト言フコトヲ喧シク言ハレルコトハナイカト言フ趣意デ五年ニシマシ

タ、五年ノモノガ七年デモ宜イ、七年ノモノハ十年デモ宜イト言フコトガ出

テ來マストソコガ條約ニ極メテナイカラ五年ナラ宜イ十年ナラ惡ルイト言
フコトハ言ハレマセヌガ若シ十年位ニスルト條約ヲ無視スルコトニナリハ
シナイカト思ヒマス、既ニ此同盟ニ加入シタナラバ成ルベク利益ノヤウニス
ルノが必要ト思ヒマスガ餘リ十年ト言フコトニスルノハ條約ノ趣意カラ言フ
テモ穩カデアルマイカト思フノデ五年トシタノデアリマスカラ成ルベク五年
位ノ處デ止メテ置キタイト思フノデアリマスカラ其事ヲ一言申述ベテ置クガ

宜カラウト思ヒマシテ條約トノ關係ヲ申シマシタノデアリマス

○久保田讓君 唯今ノ御説明ハ至極尤デアリマスガ其趣意ニ於テハ一向異
ラナイ、ソレカラシテ先刻チヨット御断リシタ通り五年ノヲ十年ニシタノ

ハ決シテ温リニシタノデハナイ、ソレカラ唯今ノ御話ニナツタ獨逸ト白耳義
ノコトハ少シ例ニナルマイト思フ、何故ナラバ獨逸ト白耳義ハ此條約ニ始メ
カラ關係ヲシテ居ツテ此條約ハ十年カ十二年前ニ出來タノデアリマスガ、其
前カラ之ニ關係シテ屢々會合シテ居ツテ詰リ政府ガヤル所デハナイ、著作者出
版者ノ輿論ガサウ言フ風ニ傾イテ來テ成立ツタノデアルカラ長イ間其準備ガ
出來テ居ル、日本ナドハ寐耳ニ水デ殆ント議院ニ出テ來テ始メテ翻譯者ナド
ガア、言フモノガアルカト云フコトヲ知ツテ吃驚シテ見タヤウナ譯デシカモ

是ハ此七月ヨリ施行スルノデ途方モナイコトデ、決シテ獨逸ヤ白耳義ナドノ
例ニナラヌト言フコトハ是ハ御話シテ置キタイ、又同盟國ニ對シテモ其事情
ヲ言ツタナラ大ニ其理由ガアラウト思フ、又ツニハ翻譯ニ餘程難易ノアルコ
トデ、獨逸佛蘭西英吉利ナトガ互ニ其國語ヲ翻譯スルノハ存外ムヅカシイコ
トデハナイ、然ルニ日本デ英佛獨ノ書ヲ日本風ニ翻譯スルノハ非常ニムヅカ
シイ歐羅巴ノ國同士互ニ翻譯スルヤウニヤサシイコトデハナイ、ソレガ一ツ
ノ理由デアル、ソレハ既ニ是マデ翻譯シタモノデモ百家全書トカ字引トカ皆
ナ非常ニ長ク掛テ翻譯シテ居ル實例モアルカラ同盟國ニ對シテ日本ガ殊更ニ
無茶苦茶ナコトヲ言フノデハナイ、故ニ事情ヲ盡シテ理由ヲ述ベタナラバ彼
等モ決シテ無理トハ思ハナイデアラウ、ソレデ全體ノ趣意カラ言ヘバ政府委
員ノ言ハレルノモ無理ハナイ、同盟ニ這入ツテ居ル者ハ原案ノ通り著作権保護
コツチニ利益ヲ取ルコトハ出來ヌノデアルガ、是ハ無理ナコトデハナカラウ
ト思フノデス

○政府委員(森田茂吉君) サウシマスト久保田君ノハ四十七條ノ第一項ヲ十
年トスルト第二項ノ五年ハドウナルデスカ

○久保田讓君 発行ガ出來サヘスレバ宜イノデスカラ二項ハ構ヒマセヌ

午後零時八分休憩

午後一時十五分開會

○副委員長(加藤弘之君) ソレデハ始メマス、ソレデ先キノ十年五年ノ話ガ
其儘ニナツテ……

○久保田讓君 此間御話シ申上マシタ第一十條ノ新聞紙ニ記載シタル記事ト
言フコトガアリマス其前ノ十一條ニモ記事ト言フ文字ガアリマス、前ノ記事
ト言フモノト後ノ記事ト言フモノトハ事柄ガ違ヒマス、夫デスカラ外ニ變ヘ
タラドウデゴザイマスカ

○久保田讓君 夫ダカラ前ニアル記事ト言フノトコツニアル記事ト言フノ
トハ意味ガ違ヒマス

○政府委員(水野鍊太郎君) 後ノハ廣ク見タノデアリマス

○木下廣次君 先刻私ハ二十七條ノ本文ニ對シテノ修正案トシテ持出シテゴ
ザイマスガ、其意ハ此二十七條ノ本文ヲ斯ノ如ク改メルト言フコトデ出シマ
シテゴザイマスガ、能ク考ヘテ見マスルト此本文ハ矢張リ此通り存在サレマ
シテ第二項ニ先刻申出タ所ノ案ヲ入ル、ト言フコトデナクチャアナルマイト
思ヒマス、ナゼカト申シマスルト、第二十七條ハ是ハ即チ帝國臣民ニアラザ
ル者ニ對シテ一般ノ規定ヲ言現ハサレタモノデアルシ、ソレデ今度ハ其帝國
臣民外ノ者ニ就テ同盟國ニ屬セザル者ヲ規定スルコトニナリマスカラ矢張リ
此本文ハ存在シテ第二項ニ著作権、第二項ニ左ノ條文ヲ挿入シタイト思ヒマ
ス「著作権保護ニ關スル同盟國ニ屬セザル著作権者ハ同盟條約ニ別段ノ規定
ナキ場合ニ於テハ帝國ニ於テ始メテ其著作物ヲ發行シタルトキニ限り本法ノ
保護ヲ享有ス」

○男爵吉川重吉君 チヨツト伺ヒタイモノデスガ此第二十七條ノ原案デゴザ
イマスルト同盟國ノ外國人ヲ指シテ居ルノデアル、今木下サンノ御修正ニ依
ルト同盟國ニ加入セザル同盟國ニ屬セザル著作者ト云フ事デゴザイマスガ、
所デ同盟國ニ這入ツテ居ル者ハ原案ノ通り著作権保護ニ關スル別段ノ規定ア
ル者ハ除クト云フ事が至當デゴザイマスガ、同盟國ニ屬セザル著作者ニ於テ
ハ同盟國ハ何ノ關係モナイヤウデゴザイマスガソコハドウ云フ御考デゴザイ
マスカ

○木下廣次君 私モ其感ヲ起シタデアリマスガ政府委員ニ内々質問ヲシテ
見マシタガ矢張リ關係ヲ起スノデアリマス、ソレハ國際同盟條約追加規定ノ
第二ニ其關係ヲ生ジテ居リマス、追加規定第二ニ同盟國以外ノ國ノ臣民ノ事
ヲ規定シテ居リマスカラ、殊ニ其同盟國ノ一二於テ始メテ公ニシ若クハ公ニ
セシメタル場合ニ於テハ云々ト云フコトヲ言ツテ居リマスカラ、同盟國ノ一
ニ於テ云ヒマスレバ日本帝國カラ申シマスルト即チ獨逸ハ一ノ同盟國ノ一デ
ゴザイマス、依ツテ亞米利加人ガ獨逸デ出版シタモノデアツタナラバ矢張リ
此條約ニ依ツテ同盟國ノ臣民デハナイケレドモ保護ヲ與ヘル事ニナリマスル
ネバナラヌ事ニ相成リマスルデゴザイマス

○久保田譲君 私モ木下君ニ御尋致シマスガ、二十七條ノ本文ヲ御讀シニナルトスウ云フ事ハドウ云フ御解釋ニナリマスルカ、總テノ法律、日本デ制定シタ法律ハ今度條約ニ依クテ別段取除ノナイ以上ハ各國ノ臣民ハ此法ニ據ラナケレバナラヌ、決シテ此法ニ書イテアルカラ始メテ效ヲ生ズルト云フ譯デハアリマスマイカ、唯今ノ御説ニ依ルト二十七條ニ殊更ニ此法ヲ適用スルト云フコトヲ書イテ他ノ法律ト權衡ヲ失フヤウナ事ハゴザイマスマイカ如何デゴザイマスカ

○木下廣次君 ソレハ權衡ヲ失フマイト私ハ思ヒマスガ、此著作權法ハ即チ重ニ帝國臣民ノ行爲ヲ規定シテ居リマスカラ、此二十七條ニ至クテ始メテ外國人ニ關スル所ノ行爲ヲ規定致シマスルカラシテ、此事ガ此條ニ現ハレテ居リマスト申シテモ他ノ諸法ト格別矛盾ヲ生ズル事ハナイヤウニ思ヒマスル

○久保田譲君 ドウモ私ハ不要デハナイカト思フ、總テ取除ヲ外國人ノ爲ニ別段ニ取除ヲ要スル事ガアルカラ此法律ヲ適用スト云フ事ハチットモ必要ハナイ、若シ是ニ書キマスルト却ツテ他ノ法律ニサウ云フ事ヲ書イテナイトキニ外國人ニ適用スルカセヌカト云フ疑ヲ生ズルカラ第二項ニ屬スルヤウナ事ガ矢張リ必要デアル、本條ニ當リ前適用スルト云フ事ハ書イテナイ方ガ宜カラウト云フ疑ヲ生ズル

○木下廣次君 他ノ法律デゴザイマシテモ民法ノ如キ此人間自然ニ爲スペキ事柄ナドノ規定ナラバ要ルマイカト思ヒマスガ、此著作權ノ如キハ即チ内外通ジテ問題ガ起ルカラシテ殊更ニ外國人ニ付テノ規定ヲ書キ上ダルト云フ事ハ至當ノ順序デハナカラウカト思フノデゴザイマス

○政府委員(水野鍊太郎君) チヨット申シマスガ、ソレトモウ一ツハ斯ウ云フ事モアルノデス、條約ト法律ト抵觸スルト云フ場合ニハ條約ガ勝ツカ法律カ勝ツカト云フ疑問モアル、デスカラ此場合ハ條約ガ特別ニ規定ノアルモノハ其條約ニ依リ、以外ノモノハ本法ノ規定ヲ適用スルト云々テ置ケバ其疑ガ明ニナリマスルカラ其意義ヲ明瞭ニスル爲ニモ此條ガアッタラ宜カラウト云フノデス

○久保田譲君 其方ノ關係ナラソレハ私モ要ルカト思ヒマス

○菊池大麓君 此著作權保護ニ關スル國際同盟條約ニハ「著作權保護ニ關スル」トアッテ其次ノ追加規程ニハ「著作物ノ保護ニ關スル」トアリマスガ是ハ印刷物ガ間違デアリマスカ此本統ノ名ハ何ト言ヒマスカ、ソレカラ國際ト云フコトヲ拔カシテ宜イノデアリマスカ

○政府委員(水野鍊太郎君) 是ハ著作權保護ニ關スル國際同盟條約ト云フ方ガ甚シイノデゴザイマス、著作權保護ト云フ方ガ原文ニナッテ居リマスガ……千八百六十六年ノニハ確ニ著作權ト云フコトニナッテ居リマス、此追加規程ノ際ニハ或ハ斯ウ云フ風ニ改ツタカモ知レマセヌケレドモ趣意ハ同ジイコトデアリマス

○菊池大麓君 此木下君ノ修正案ニハ著作權者ハ云々ト云フコトニナッテ居

ル、ソレカラ此追加規程ノ方ヲ見タラ「著作物ノ保護ニ關スル」云々トアリマス、ソレカラ又此表紙ヲ見タラ「著作權ノ保護ニ關スル」云々トアリマシタカラ大ニ疑ヲ起シマシタノデアリマス、ソレデ木下君ノ著作權者ト云フノハドウ云フノデスカ

○木下廣次君 此著作者ト言ヒマスルハ著作ノ本人ヲ言フデアリマス、ソレデアルカラ著作權者ト言ヘバ其相續人、承繼人モ自ラ這入ルノデアリマシテ唯言葉ヲ簡ニシタモケノコトデアリマス

○菊池大麓君 水野君ニ質問致シマスガ此他ノ所ニハ差支ハゴザイマセヌカ、著作者ト云フ方ヲ著作權者ト云フ意味ニ使フタ所ハナイデスカ

○政府委員(水野鍊太郎君) 是ハ無論著作權者ト云フ方ハ著作人及其承繼人モ含ム積ニナッテ居リマス、例ヘバ七條十五條ニモアリマス

○男爵吉川重吉君 モウ一ツ木下君ニ質問シマスガ著作物ヲ發行シタル時トアリマスガ此法律デハ例ヘバ第四條ノ如キハ「發行又ハ興行シタル時」ト云フヤウナコトガアリマスルガ「發行シタル」ダケデ意味ハ足リルノデスカ

○木下廣次君 私ハソレデ盡シテ居ルト考ヘテ居リマス、即チ興行ト云フノハ著作物ノ發行ニ外ナラヌカト思ウテ居リマス

○菊池大麓君 併シソレダト第三條ヲ直サナケレバナラヌ

○政府委員(水野鍊太郎君) 今ノ木下サンノ御修正案ハ發行シタ場合ニ保護スルダケデチヨット日本ニ來テ演劇デモシタイト云フ場合ニハ保護ヲ與ヘナインデスカ

○男爵吉川重吉君 所ガ斯ウ云フコトニナリハシマセヌカ發行シタトキニ限ルト云フト外國人ガ當然其權ヲ持ツテ居ルト言ウテ日本デ初メテ發行シタ時ニ限ルトスウ云フ精神カラ修正案ガ出タノデスカラ此發行興行ト云フ中ノ發行ダケヲ茲ニ持ツテ來テ興行ニ付テハ明文ガナインデスネ

○木下廣次君 明文ハゴザイマセヌカラ取除ニナリハシマセヌカ

○菊池大麓君 今吉川サンノ御質問ハ斯ウ云フノダラウト私モ思ウタンデスガ今ノ演劇脚本ナドニ付テ日本ニテ興行シナクテモ保護ヲ受ケルト云フコトニナリハシナイカ、却テ興行ト云フ字ヲ茲ニ拔カシテアルガ爲メニ保護ヲ受ケルコトガ強クナリハシナイカト云フ御疑デアラウト思フ

○政府委員(水野鍊太郎君) ソレデハ申上ダマス同盟國以外ノ著作權者ガ日本デ其著作物ヲ發行シタトキニ限ツテ保護ヲ受ケル其以外ノ時ニハ享有ハ出来ヌノデス、其興行物ニ付テ保護ヲ受クルト云フコトニナル、即チ非同盟國ノ保護ハ餘程薄クナルト云フコトニナル、公ニナッテ發行シタトキニ保護ヲ受ケル、從テ興行モ保護ヲ受ケルコトニナル、二項ガ這入ツタカラソレダケノコトハ一項カラ除カレテ仕舞フト云フヤウニ總テノ法律デモサウイキハシマセヌカ、唯一部分ノ事柄ニ就テ二項バカリニ書クト云フコトガアルカ、若シサウ云フ趣意ナラバ一項ノ方ヲ同盟國人ト書カネバナラヌヤウニナリハセヌカ、殊ニコツチノ二項ノ方ハ興行權ガ無イカラ……

○菊池大麓君 私ハ愈々二十七條ノ一項ハ除イタ方ガ宜カラウト思フ、先達テカラシテ此一項ニ就テハ有ツテモ無クテモ宜イト云フヤウナ御説モ聞イテ居ル、條約ト法律ト抵觸スル場合ニハ條約ノ方ガ重クナルト云フコトハ普通ノコト、思フカラニ十七條ノ一項ノ無イ方ガ宜イト思ヒマス

○政府委員(水野鍊太郎君) 條約ト法律トノ關係ニ就テ其主義ヲ認メテ仕舞ヘバ無クテモ宜イコトニナリマス、併シ是ハ法律論トシテハ議論ノ有ルコトデスカラ入レテ置イタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○菊池大麓君 水野サンニ御尋シマスガ條約實施準備委員會デハ二十七條ハ無イ方ガ宜イト云フ論デアリマシタガ必要ト見タノデスカ

○政府委員(水野鍊太郎君) 有ル方ガ宜イト云フ論デアリマス、實際ハ無クテモ宜イデセウケレドモ條約ト法律ノ關係ニ就テハ論モ有ルコトデスカラ先ギ入レテ置ク方カ宜カラウト思フノデアリマス

○久保田讓君 サウ學説上カラ必要ナラバ置イテモ宜イデアリマセウト思ヒマス

○副委員長(加藤弘之君) 二項ガ出來タ爲ニ一方ノ方ニ興行權ガ出來テ仕舞

○菊池大麓君 フヤウナ嫌ガアルカラ置クナラバ一項ノ書キ様ヲ變ヘ子バイケナイデアラウキニ限ルトシテハドウデスカ

○木下廣次君 ワレマデヤル必要ハ無イト思フノデスガ入レルナラ入レテモ宜シイ

○政府委員(都筑馨八君) 最惠國條款ハ少シモ此條ニ適用ハ出來ヌト認メマス、著作權ノコトニ付キマシテハ先刻特許ヤ何カニ付キマシテ少シ説明ガ足リマセヌデシタ、此舊條約ノ最惠國條款ニ依クテ均霑ヲ要求スル勢ヒガ見エタノデゴザリマス、ト云フモノハ舊條約ノ最惠國條款ハ新條約最惠國條款ニ比シマスト大變書方ガ違テ居リマス、總テノ權利及特權ト斯ウ書イテアリマス、新條約ノ最惠國條款ニハ重ニ商業ノコトノミニ付テ特權ガゴザイマスガ舊條約安政條約ノ最惠國條款ニハ總テノ權利及特權ヲ享有スル、即チ最惠國臣民ガ享有スルモノハ總テ享有スル、其箇條ニ依クテ申込マントシタ勢ヒガ確カニ見エタノデアリマス、ソレデ此權利ヲ享有セシメタ所ガ大シタル不都合モナシ又條約改正ト云フコトニ付キマシテハ各國政府モ隨分好意ヲ示シタノデ、併シ拒絕シテ向フガ其拒絕ニ同意シタカドウカト云フニ中ミ同意ハシテ居ラヌノデアリマス、ケレドモ免ニ角拒絕ハ始終シテ來タ、斯ウ云フ風ト同シ様ナ待遇ヲ與ヘル、斯ウ云フコトヲコチラノ發意デ言フテヤッタノデ、モウ此舊條約ノ最惠國條款デモ斯ウ云フ解釋ハ日本政府ハ今マデ拒絕シテ來爲トシテコチラカラヤツト云フコトニナリマスカラ餘程其著作權ノ方トハ意味ヲ異ニシテ居リマス、著作權ノ方ニ付キマシテハ別ニ新條約實施前ニ著

ドモ抗議シツツ受ケタコトハアル、夫ハコツチデモヤルコトデスガネ、コチラノ利益ト云ツテハ惡ウゴザイマスケレドモコチラノ意思ニ適フ所ハ同意シテ夫カラ意思ニ適ハヌ所丈ケハ不同意ヲ唱ヘルコトガアリマス、夫デハイケマイナント云フコトモアリマシタ、併シ其與ヘタト云フコトニハ同意シタデス、獨逸臣民ト同様ノ待遇ヲ新條約ヲ結ンダ國ニハ與ヘタ、其與ヘタト云フ事實丈ケハ向フハ確カニ同意シテ來テ居ル、其同意ヲ以テ直ニ最惠國條款ノ解釋ニ對スル同意トハ云ヒ惡イ

○副委員長(加藤弘之君) サウスレバ是ハ差支ナイト思ヒマスケレドモ水野サンドウモ一項ヲ取ルナラ宜シウゴザイマスケレドモ置クナラバ是ハ同盟國ノ外國人ト云フヤウニ直サヌトイケナイト思ヒマス、今此處ラカラ大分説ハアリマスケレドモ二項ヲ置イタ日ニハ同盟國デナイ人ハ二項ノコトバカリニナリマス一項ニハ何モ這入ツテ居ラヌ、サウスルトドウシテモサウ入レルカ是ハ取ツテ仕舞フカ私ハ取ツテ仕舞フ方ガ宜イト思ヒマス

○菊池大麓君 木下君ニ質問シマスガ二十七條ニ本法ノ規定ヲ適用スト書イテアリマス夫カラ木下君ノ修正ハ第二項トシテ其方ハ本法ノ保護ヲ享有ストアリマス是ハ何カ意味ガアツタノデアリマスカ

○木下廣次君 是ハ一向意味ハアリマセヌ、即チ追加條約ノ文章ガ保護ヲ享有スト云フ文字ガアリマス、夫ニ據ツタノデアリマス

○菊池大麓君 本法ノ規定ヲ適用スト云フコト、同ジコトニナリマスカ

○木下廣次君 結果ハ同ジコトニナリマス

○菊池大麓君 木下君ノ引カレタ一十一條二十二條ハ是ハ即チ保護ヲ受ケルト云フコトデアツテ規定ヲ適用スル時ノトハ違フダラウト思ヒマス、規定ヲ適用スルト云フノハ罰デモ何デモ同時ニ行ハレル、夫デ保護ヲ享有ス又其規定ヲ適用セヌト云フコトハアレニ這入ラナイ、サウスルト本法ノ規定ヲ適用スド云フ意味デヤルナラバ今ノ二十七條ヲ一項トシテ存シテ置クコトハ丁度委員長ノ云ハレルヤウニナルダラウト思ヒマス

○久保田讓君 併シ私ドモハ何デゴザイマス此二十七條ハ餘程議論ノアツテ這入ツタト云フコトデゴザイマスガ條約ト法律ト云フモノハ條約ガ法律ニ勝ツト云フ解釋ヲ決定シテ仕舞ツテ今此所デ決スルト云フコトハ此會デ極メルト云フコトハ甚ダ私ハ不同意デアル、是ハ隨分議論ガアルノデ今日ハ條約ハ條約、法律ハ法律デ特別ニ極メラレテ居ルノデアルカラサウ云フコトノ唯議論ヲシテ決定シテ取ルト云フコトハ私ハドコマデモ不同意デアリマス

○山脇玄君 私モサウ思フテ居リマス

○政府委員(水野鍊太郎君) ソレハ兩方ニ說ガアルノデゴザイマスカラドチラニシテモ……

○政府委員(都筑馨六君) 習慣ハ確カニサウヤツテ居ルノデスガ議論ハアルノデス

○菊池大麓君 此一項ヲ刪ル……同盟國ノ外人バカリニ限ルト云フコトデアリマスガ、若シ亞米利加アタリト別段ニ條約ガ出來タナラバドウナリマスカ、張張リソレデハ二十七條ノ外國人ト云フノハ唯一般ニシタラバ宜カラウト思ヒマスガドウデスカ

○政府委員(都筑馨六君) 亞米利加ハ同盟條約ニ這入ツテ居リマスサウデアリマス

○菊池大麓君 ソレナラ支那デモ宜イ……水野君ニ質問致シマスガネ今ノ著作権保護ニ關スルト云フ字丈ケ除イタ方ガ宜クハナイカト思ヒマスガ、ソレデ之ヲ拔イテ置イテモ勿論同盟條約ノコトハ這入テ來ルデ又特別ニ條約ヲ結ンダモノモ這入テ來ルダラウト思ヒマス

○政府委員(水野鍊太郎君) ソレハ拔イテモ拔カヌデモ同ジコトデゴザイマセウ、著作権保護ニ關スル條約デゴザイマスレバドッヂニナツテモ同ジコトニナルダラウト思ヒマス

○菊池大麓君 水野君ニ質問シマスガ著作権保護ニ關スル條約ト云フノデスカラ通常ノ其條約ノコトハ著作権保護ニ關スル條約ト云ヘマセウカ

○政府委員(水野鍊太郎君) ソレハムヅカシイ

○

○菊池大麓君 尚ホ質問シマスガ先ツキ外務次官カラチヨツト云ハレマシタガ瑞西等ハ同盟ニ這入テ居ルト云フコトニ云テ居ルシ其外特別ニ何トカ云フコトモ云ツテ居ル

○政府委員(都筑馨六君) 著作権ニ關シテハ内國臣民ト同様ノ扱ヲ與ヘルト云フテアルニモ拘ハラズ議定書ニ白耳義ノ同盟條約ニ這入ルト云フコトガ規定シテアル

○菊池大麓君 尚ホノコトドウシテモ取ツテ仕舞ツテ唯條約ト云ハヌケレバナラヌ

○政府委員(水野鍊太郎君) 斯ウ私ハ修正シタイト思フ「著作権保護ニ關スル條約ニ規定ナキ外國人ノ著作権ニ關シテハ帝國ニ於テ始メテ其著作物ヲ發行シタル者ニ限り本法ヲ適用ス」

○副委員長(加藤弘之君) 水野サンノヲモウ一遍云フテ見テ下サイ

○政府委員(水野鍊太郎君) 著作権保護ニ關シ條約ニ規定ナキ外國人ノ著作権ニ付テハ帝國ニ於テ始テ其著作物ヲ發行シタル場合ニ限り本法ノ適用ス

○菊池大麓君 サウスルト二十七條ヲスツカリ云ウテ見ルトスウ云フコトニナルデスネ「外國人ノ著作権ニ付テハ條約ニ別段ノ規定アルモノヲ除ク外本法ノ規定ヲ適用ス」ソレカラ二項ガ「著作権保護ニ關シ條約ニ規定ナキ外國人ノ著作権ニ付テハ帝國ニ於テ始テ其著作物ヲ發行シタル場合ニ限り本法ノ

規定ヲ適用ス

○副委員長(加藤弘之君) 今都筑君が歸ラレルト云フコトデアリマスカラ久保田君カラ四十七條ニ就テノ御意見ヲモウ一應御述べニナリタイト思フ

○久保田讓君 四十七條ノ翻譯物ハ本法施行後五年内ト云フノヲ十年ニ直ホサウト云フノデアリマスガ外務省ノ御意見ハドウデアリマスカ

○政府委員(都筑聲八君) 是ハ私ノ聞イタ所デハ一番長イ國ガ四年ニナツテ居ル、ソレデ多少利害ノ關係上カラ之ヲ五年ニシタノデ、國ニ因ツテハ一年位ホカナイ國モアル、其所ヘ持テ往ツテ十年トナツテハドウモ…

○久保田讓君 是ハ大ニ理由ガ有ルノデ此條約ガ出來タノハ千八百八十六年デシタガ、然ルニ此極マル前ガナカヽ十年ヤ十五年デナイ、此條約ノ始マリハ決シテ政府ガ自論ダト云フコトハ書イテナイ、矢張リ著作者ヤ出版者ガ

版權ノ保護ニ就テ困ルカラト云フノデ段々話ガ進ンデ來テ終ニソレガ輿論ト提出ニナツテ著作者出版者ガ始メテ知ツタト云フ様ナ譯デ準備ト云フモノハナツテ政府ハ斯ウ云フヤウナ條約ヲ結ンデ來タ、其初カラハ餘程長イ間デア

リマス、日本ハドウデアルカト云フ所謂寢耳ニ水デ漸ク法律案ガ政府カラ皆無デアル、夫デスカラサウ云フ方カラ行ツテモ延ベルト云フ理由ガアラウト思ヒマス、夫カラマダアルノデス、獨逸ヤ英吉利ヤベるじつノ様ナ所ニハ其期限ヲ二年トカ四年トカ八年トカアルト云フコトデアリマシタガ、アノ邊ノ翻譯デアルト英吉利文ヲ獨逸文ニ翻譯スルニシテモ英吉利文ニ翻譯スルニシテモ左程ムヅカシイコトハナイ、或ハムヅカシイカモ知ラヌガ免ニ角英佛獨文ヲ日本ノ文章ニ翻譯スル様ナ困難ハナイ、日本文ニ翻譯スルノハ中々困難デアルカラ少シ大部ナ翻譯ニナルト餘程時ガ掛カル、向フデ一年掛カルモノナラバ此方デハ二年モ掛カルト云フ理由ハ明カナ理由デアリマス、サウ云フ理由ヲ以テ十年ニ延バスト云フ斯ウ云フノデア

○政府委員(都筑聲八君) 速記ヲ暫ク止メテ戴キタウゴザイマス
(速記ヲ中止ス)

○副委員長(加藤弘之君) 七年ニ御異議ガナケレバ多數ト見マシテ七年ト修正スルコトニ決シタト云フコトニ致シマセウ

○久保田讓君 私ハ全體ヲ決定スル時ニ自分ノ意見ヲ述べテ尙施行上ノ希望ヲ述べタイデスガ是モ矢張リ外務次官ニ餘程關係ガアリマスノデスカラ聞イテ頂カネバナラヌト思ヒマス

○副委員長(加藤弘之君) 夫レハ委員會ガ濟シデカラデスカ

○久保田讓君 決定スル時デス

○副委員長(加藤弘之君) 夫レデハ今御述ベニナツテハドウデスカ
○久保田讓君 私ハ此案ハ修正ヲシテ贊成ヲ致スノデアリマスガ併シ中心喜ンデ贊成スルノデハナイ、實ニ已ムヲ得ズ贊成スルノデアリマス、此已ムヲ

得ズト云フノハ此法ノミデ濟ムノデハナイ、溯シテ此法ヲ餘儀ナクサレル、之ヲドウデモ制定シナケレバナラヌト云フモノガアル故ニ餘儀ナク贊成スルノデアリマスガ此餘儀ナイコト、云フノハ何カト云ヘバ即チ條約デアル、通商條約ト云フモノガ結バレテ居ルカラ之ニ基イテ作ルト云フ法デアルカラ、日ハ已ムヲ得ヌノデアリマス、夫レデ此條約ノ當時ニアツテハ此版權、著作權同盟ニ這入ルコトノ可否得失ニ付テハ先刻一應申述ベマシタカラ最早重ネテ其事ヲ述ベマセヌ、私ハ此當時ニアツテ政府並ニ外交當局者ノ勧考如何ニ依ツテハ必ズシモ同盟條約ニ這入ラヌデモ濟ンダデアラウト云フコトハ今テモ考ヘテ居ルコトデアリマス、其事ハ先刻モ申シマス通り通商條約ヲシタ各國ガ悉ク這入ツテ居ル譯デハナイ、文明國ト稱スル所ノ著シキ數箇國モ此同盟ニハ這入ラズニ濟ムト云フ位ノ關係ノモノデアルカラ必ズシモ這入ラネバナラヌ、是非ドウデモ這入ラナケレバ條約ガ出來ナイト云フ程ノモノデハナカッタデハナイカ、殊ニ此特許ノコトナドニ付キマシテハ餘程直接ノ利害ノ關係ノアルコトデアリマスカラ夫レヲ取除クコトハムヅカシカツタデアラウガ著作權ノコトニ付テハ彼レ是トノ利害得失ハ餘程明カニナツテ居ルコトデ我邦ニハ非常ナ不利デアル、彼國ニハ左程ナ不利益デナイト云フコトモ明カナコトデアルカラ旁々必ズシモ同盟ヲシナクテモ宜カタラウト思フ、併ナガラ今日夫レヲ述ベテモ仕方ガナイ、既ニ極ツタコトデアル、餘儀ナイコトデアルカラ已ムヲ得ズ贊成ヲ致スノデアリマス、夫レデ少シ夫レニ付テ私ガ希望ヲ述ベテ置キタインハ右様ナ利害ノ關係ノ多イ事柄デアルカラシテ政府ハ今後此事ノ施行上ニ付テ實施サレルコトニ付テ大ニ注意シテ貰ヒタイ、即チ此著作ニ對シテ…外國ノ著作者ニ對シテ照會往復ト云フヤウナ事ヲ多く是カラハ致サヌケレバナラヌガ、ソレ等ノ事ハ殊ニ外務省ナドデハ深ク注意ヲ下サレテ在外ノ公使館竝ニ領事館等ニ於テ帝國臣民カラシテ外國ノ著作權者ニ向ツテ種々談判ヲ致ス事ニ就テハ成ルベクダケ便利ヲ與ヘラレタイ、且又保障ヲ與ヘラレタイト希望スルノデアリマス、從來本員ナドノ承ル所竝ニ親シク遭遇シタ所ノ有様ヲ以テモ外國ノ公使館領事館ナドデサウ云フヤウナ事ノ大切ナル事デモ照會ナドノ手數ヲ盡サレル事ハ餘リドウモ親切トハ言ヘナイヤウナ事ガアル、或ハドウモ少シク冷淡ニ過ギルヤウナ事モアル、甚ダ十分親切ニ好意ヲ盡サレテ居ルト云フ事が少シ覗ケテ居ルヤウニ見エル、外ノ事ハ免モ角モトシテ此版權著作權ノ事ニ就テハ餘程込入ツテ中々面倒デアリ或ハ著者ノ宿所モ分ラヌトカ、ソレカラシテドウ云フ事ニナツテ居ルカ事情モ分ラヌヤウナ中々コチラデハ分ラヌ、本邦ノ著作者ガサウ云フ事ニ事情ニ能ク通シテ居ルト云フ者ガ能クソレ等ノ事情ヲ親切ニ成ル可クダケ著作者ニ便利ヲ與ヘルト云フ事ヲ外務省デ十分努メテ貰ヒタイ、ソレガ即チ我國ノ進歩ヲ圖ル一ノ便利デアラウト思ヒマスカラソレヲ一つ大ニ希望致シテ置キマス、ソレカラ今一ツハ是モ隨分ムヅカシイ事デハアリマスガ外交上ノ事ハ先ニ得ズ贊成スルノデハナイ、實ニ已ムヲ得ズ贊成スルノデアリマス、此已ムヲ

ニ其起ツテ來ルトキハドウカ宜イ時機ガアリマシタナラバ或請求ニ對シテ又コチラカラモ其請求ニ應ズルダケノ利益ヲ求メル事モ出來ル場合モアラウト思フ、サウ云フ場合ニ機會サヘアレバ成ル可ク此版權著作權ノ事ニ就テハ我國ノ利益ヲ恢復スル事ノ出來ルヤウニドウカ其成ル可ク談判ニナルヤウニシタイ、事ニ依レバ已ヲ得ヌケレバ或利益ノ交換ヲ致シテモ此著作權ノ事ニ就テハ自由ニ其利益ヲ得ラレルヤウナ方法ヲ御考ヘニナシテ常ニ其事ニ御注意下ス、サウシテ外交上ニ就テ便宜ヲ得ラレルマウニアリタイト思フノデアリマス、マア大要サウ云フ趣意デアリマスカラソレダケノ事ヲ私ハ申述べテ本案ヲ贊成シテ置クノデアリマス

○木下廣次君 一々同感ノ外ハナイ

○久保田讓君 唯今申述ベタ事ニ就テ外務次官ナリ政府委員ナリ何カ異ツタ御意見ガアレバ承ツテ置キタウゴザイマス、別段御意見ガナケレバ強ヒテト云フ譯デハアリマセス

○政府委員(都筑馨六君) 黙ツテ居レバ總テ承諾ヲシタト云フコトニナレバ困リマスガ、サウ云フ御注文デヤアリマセヌカ

○久保田讓君 御意見ガアレバ承ツテ置キタイ

○政府委員(都筑馨六君) マア外務當局者トシテ意見ヲ是非述ベロト云フ事デアリマスレバ國トシテ斯ウ云フ風ナ固定ニ長ク續ク事ヲ目的トシテ同盟ニ這入ル以上ハ萬已ムヲ得ザル理由ガナケレバ變ヘナイ積リデ這入ルノデアラウト思ヒマス、又其態度ヲ執ルヨリ外ハ致方ハナイカト思ヒマス、今日ノ所デハ先キヘ寄ツテドウ云フ事ガ生ズルト云フ事ハ豫メ今日カラ見透シハ付カヌノミナラズ又申上ゲル事ハ出來ヌ地位ニ居ルノデアリマス、ソレカラ又領事館ノ世話モ無論出來ルダケノ世話モ與ヘサセハ致シマセウガ動モスルト何處ノ國デモサウデアリマスガ領事館ト云フモノハ其國ノ一私人ノ世話ヲ飽ク迄モシナケレバナラヌ感ジヲ起シ易イモノデアリマス、併シ是ハ公ケノ機關デアリ、公ノ職務ヲ持ツテ居リマスカラ一私人ノ保護ヲ主トシテヤル方ニ力ヲ盡ス譯ニハ到底イカヌ、何處ノ國デモ自國ノ領事館ニ就テ苦情ガアルノハ領事館ノ本職ト云フモノハ誤リ易イノデアラウト思ヒマス、併ナガラ公ノ機關タルニ背カヌ限りハ成ル可ク便宜ヲ與ヘル積リデアリマス、併ナガラサウ云フ學者ノ命令ヲ聞イテ一々勧ケト云フヤウナ譯ニハ往カヌコトデアリマセウト思ヒマス、ソコハドウゾ認知ヲ願ヒタウ存ジマス

○久保田讓君 唯今ノ御答辯デハモウ一言シテ置カナケレバナリマセヌガ、決シテサウ云フ極點ナ御答辯デハ困ル、學者ノ命令ニ依ツテ領事ニ勧ケトハ言ハヌ、サウ私ハ事理ヲ辨ヘヌコトヲ申シタノデハゴザイマセスカラ、モウ少シ虛心平氣ニ御聞キニナシテ貴ヒタ、決シテ私ハソンナ事ハ言ハヌ、成ル可ク便宜ヲ與ヘルト云フ事ヲ言ツテ居ル、ソレカラ又實際ハドウデアルカト云ヘバ我ミモサウ云フ事ニハ遭遇シテ居ルガ甚ダ不親切デアルト云フ事ハ隨分例ヲ舉ゲテ言ヘル事ガアル、決シテ親切ニ能ク帝國ノ爲ニ親切ニ能ク行

居イテ居ルカト云ヘバ餘り行届イテ居ラヌト思ツテ居ルカラソレデ今後ノ所ハ餘程注意ヲシテ貰ヒタイ外ノ事ハ宜イガドウカ此著作權ノ事ニ就テハ著作ナドヲスル人ハサウイロイロノ世俗ノ事ニ通ジタ人モナイン、スルカラ向フノ著作者ノ事ヲ調ベルニモ困ル事ハ或ハ郵便ニデモ、通信上ノ事ニ就テモ難ガアラウカラドウカサウ云フ事ハ親切ヲ盡シテ政府ガ殊更ニ此事ニ就テ注意ヲシテ戴キタイト希望シタノデアリマス、決シテ公務ヲ拠テサウシテ學者ノ爲ニ盡力ヲシロト申シタノデハナイカラドウカソコハ御了解ノ誤リノナイヤウニシテ置キタイ

○政府委員(都筑馨六君) 仰セノ趣ハ私モ分ツテ居ル、唯私ノアナタニ願ヒマスノハ一方ニハ私ノ見マシタ所デハ左程今日ハ不親切ト云フ事ハ萬々ナリ積リデアル、併ナガラ動モスルトサウ云フ苦情ノ起リ易イ故ニ先刻申述ベタヤウナ次第デ一方ニハ親切ニ自分ノ公務ノ範圍内デ世話ヲスル事が動モスルト一私人ノ依頼ニ應ジテ一私人ノ私ニ勤ケトスウ云フ事ヲ動モスルト見誤ルコトガアツテ遂ニソレガ爲ニ不親切ト云フ譯マデモ起ルヤウナ事ガアリマスカラソコハ御含ミ置キ下サレタイト申シタ積リデアル、決シテアナタガ極端ニ仰ツタト申述ベタ積リデハナイケレドモ言葉ガ足リヌデサウ御聽取ニナツタラ遺憾ニ思ヒマス

○久保田讓君 其事ハ御了解ニナツタラ宜シイ、今一ツノ條約ヲスルハ永久續ク所ニ這入ツタラ決シテ容易ニ非常ナ何カ利害ノ關係カ何カナケレバ容易ニ換ヘル事ハ出來ナイト云フ御話デアリマスガ、ソレモ一應ハ最ナ事デゴザイマスガ此事ハ非常ニ大ナル利害ノ關係ノアル事ハ分ツテ居ル、自分ダケノ見ル所デハ大ニ分ツテ居ルト思フ、併ナガラ政府ハマダソレマデニ御分リニナツテ居ラヌ、或ハ又一般ノ人モ切ニ感ジナイカモ知レナイ、併ナガラ今日ヨリ四年五年若クバ十年ノ後ニハ此事ノ利害ト云フコトハ多ク政府モ御分リニナルダラウト思フ又一般ノ人モ大ニ分ツテヤカマシク言フ人が出テ來ルト云フコトヲ私ハ信ズルノデアル、ソレデ成ルベク好イ機會ノアツタキハサウ云フコトニ向テ外國上ノコトニ向テ我邦ニ大ニ害ガアルコトガアレバソレヲ回復スル途ヲ御執リ下サルコトヲ希望致シタノデゴザイマス、尙ホ念ノ爲メニモウ一度ソレヲ希望シテ置キマス

○副委員長(加藤弘之君) ソレデハ二十七條ハドウデス

○菊池武夫君 此第一項ノ修正案第二項ニ付テハ趣意ニ於テ不同意ハナインデスケレドモドウモ一項ト申シマスト設ケヤウト云フ第二項ハ餘程規定ニ於テ異ナルモノデアルカノヤウニ思ヒマス、其使フテ居ル文句ハ似寄ツテ居リマスケレドモ趣旨ハ大分違フ、此第一項ノ場合ニ於キマシテハ若シ外國人ガ出テ來テ其著作權ノコトニ付テ何カ問題ガ起ツタキニハドウスルカト云フトソレハ先ツク條約ガアレバ條約ニ從フシ條約ガナイ場合ニハ著作權法ノ規定ヲ適用スルト云フコトヲ言ツタノデアル、今二項ニ依ツテ明カニセントスルニ其意義ヲ適用シヤウト云フ問題デハナクシテ或種ノ外國人ハ斯ウ

云フ場合ニ限^ツテ著作権ヲ有スルスウ云フノガ趣意デアルンデスカラマルデ
一項ト二項トハ規定ノ趣旨カラ言ヒマスト一項タリ二項タリト云フ關係デナ
クシテ全ク別條タルベキモノデアラウト思フ此處デ列ベテ言ヒマスカラ混雜
スルヤウニ思ハレルシシマスルカラ茲ニ置クノガ果シテ適當デアルカラドウカ
ト云ヘバ私ハ寧ロ二項ト云フモノデナクシテソレハ別ノ箇條タルベキモノデ
アラウト思フデスカラ入ル、場所ハ何處デアルヨト云フコトハ後ニ定ムルコ
トニシテ免ニ角一項ト二項トハマルデ趣意ガ違フコトデアルト云フコトニ考
ヘネバナルマイト思フ

○副委員長(加藤弘之君)併シ同ジ外國人ノコトデスカラ箇條ヲ分ケテハ却
テ私ハオカシウ思フ外國人ノコトハ外ニ少シモナイデスカラ

○菊池大麓君 サツキ水野君カラ出サレタ文句デハ成程少シ不都合ガアルヤ
ウニ見ヘル、ソレハドウ云フ場合ニ不都合ガアルカト云フト若シ今ノ所デハ

著作権保護ニ關スル條約ニ規定ナキ外國人ト云ヘバ亞米利加人ノヤウナモ
ノ、亞米利加人ハ獨逸ニ行^フテ書物ヲ版ニシタトキニハ規定ガナイト云フヤ
ウニ見ヘル、ソレハドウ云フノデ成程サウナルデアラウト思ヒマスカラ之ヲ二項トスル
代リニ但書ニシテ仕舞^ッテサウシテ其前ノヤウナ文章ニシタラドウカト思ヒ

マス、サウスルト詰リ「外國人ノ著作権ニ付テハ條約ニ別段ノ規定アルモノ
ヲ除ノ外本法ノ規定ヲ適用ス但著作権保護ニ關シ條約ナキ國ニ屬スル著作権
者ハ條約ニ別段ノ規定ナキ場合ニ於テハ帝國ニ於テ」云々ト云フヤウナ風ニ
シタラバ總テノ場合ヲ含ムヤウナコトニナリハシマスマイカ

○政府委員(水野鍊太郎君) 唯斯ウ云フ場合ニドウナリマス著作権保護ニ關
スル條約ニ規定ナキト云フコトニシテ……

○菊池武夫君 是ハ條ヲ分ケルカ責メテ項デモ分ケテ貰ヒタイ、二項ノ方ノ
趣意ハ規定ヲ適用スルト云フ趣意デナク、保護ヲ享有スルト云フノデ全ク趣
意ガ別デアルカラ但書デハ可笑シイ

○副委員長(加藤弘之君) ドウモ第一項ガイカヌヤウニ思フガ、外國人ト云
フト皆^ヲ含^ンデ居ル、サウシテ置イテ今ノ二項ガ這入ルトマルデ理窟ガ立タ
ヌ、第一項デ言フタコトガマルデ嘘ヲ^ツイタヤウニ當ル、ソレデ若シ入レルナ
ラ但書ニナレバ其取除ヲ示スノダカラ理窟ガ立タヌコトモナイガ條ナドヲ變
ヘルトマルデ分ラナイ、ソレデナク別條ニスルナラバ今ノ第一項ニナツテ居
ル方ノ外國人ト云フ頭ヘ形容詞ヲ付ケテ保護ニ關スル條約ノ有ル外國人ト云
フヤウニスレバソレナラバ理窟ハ分ル

○政府委員(水野鍊太郎君) 一ツ讀ンデ見マセウ

外國人ノ著作権ニ付テハ條約ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外本法ノ規程
ヲ適用ス但著作権保護ニ關シ條約ニ規定ナキ場合ニ於テハ帝國ニ於テ始メ
テ其著作物ヲ發行シタル者ニ限り本法ノ保護ヲ享有ス

○副委員長(加藤弘之君) 夫レデハ國ト云フコトガ見エナイナ——

○菊池大麓君 見エナイ方ガ宜イデセウ